

令和4年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月14日実施)	総合評価（4月4日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の進路実現のための教育課程編成と授業のユニバーサルデザイン化を目指した組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②ICTを活用した授業を推進する。</p>	<p>①新学習指導要領の実施に伴い、単元ごとの「指導と評価の計画」に基づく授業改善を推進する。</p> <p>①10段階評価から5段階評価への円滑な移行を図る。</p> <p>②「一人一台端末」の実施に伴い、授業における更なるICT活用を進める。</p>	<p>①「単元ごとの『指導と評価の計画』に基づく授業」をテーマに授業互見を行い、授業研究を行う。</p> <p>①5段階評価の課題を把握し、改善方策を検討する。</p> <p>②授業互見、研究協議等とおして、ICTの活用方法の研究を進める。</p>	<p>①授業改善にむけ、昨年度と比較し、さらに授業互見の機会が増えたか。</p> <p>①5段階評価へ円滑に移行できたか。</p> <p>②ICTを活用する授業展開が昨年度と比較し、増えたか。</p>	<p>①思考力・判断力・表現力の育成等をテーマに授業研究を行った。学期ごとに授業互見期間を設けて研究授業を実施し、教科会議及び職員会議で成果と課題を共有した。</p> <p>①5段階評価への移行は円滑にできたが、成績処理の手順には課題があった。</p> <p>②ほとんどの教科でICTを活用した授業を実践した。</p>	<p>①来年度2学年も新学習指導要領が実施される。単元ごとの『指導と評価の計画』に基づく授業研究を深化する必要がある。</p> <p>①事故を未然に防ぐことはできたが成績処理業務の手順、日程等の見直しをする。</p> <p>②ICT活用は授業のねらいを達成するための補助手段であることを再認識し、授業改善をさらに進める。</p>	<p>・「授業改善」「授業互見」は重要だと思います。先生方が授業を見合い切磋琢磨することは素晴らしいことです。継続して実践されることを期待します。</p> <p>・新学習指導要領における授業研究の深化には研究のやり方を見直す必要もあるのでは。授業互見だけでは深化に限界が来ると思います。</p>	<p>①思考力・判断力・表現力の育成等をテーマに授業研究を行った。授業互見、研究授業を実施し、教科会議及び職員会議で成果と課題を共有した。</p> <p>①今年度から新学習指導要領が実施され単元ごとの「指導と評価の計画」に基づく授業改善が求められる中、「指導と評価の計画」を作成する際の科目担当者間の打ち合わせに十分な時間が確保できない現状である。</p> <p>②ほとんどの教科でICTを活用した授業が実践されているが、担当者によって活用状況に差がある。</p>	<p>①来年度は1・2学年で新学習指導要領が実施される。「指導と評価の計画」を作成する際の科目担当者間の連絡を密にして情報共有を進め、各教科の本質に迫る深い学びが実現できるように授業改善を進めていく。そのために、生徒自身が課題を設定し自ら解決方法を考えることができるよう探究的な学びを取り入れていく。</p> <p>②ICTの活用については、積極的に他校見学や研修の機会を設け、さらに有効的な授業展開を研究していく。</p>
2 生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの支援を組織的に行っていく。</p> <p>②生徒を主体とした学校行事や生徒会活動を推進し、部活動を通して責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①当該生徒に関わる教職員の情報共有の場を設定していく。</p> <p>②学校行事や生徒会活動を通して生徒の主体性を育て、自己肯定感を滋養する。企画・運営を通して達成感を持てるよう支援する。</p>	<p>①継続してグループ会議や学年会議で生徒の情報共有を進めるとともに支援に結び付けていく。</p> <p>②学校行事等で生徒の主体的な運営を支援する。学校行事に積極的に係わることで、生徒の自己肯定感を高める。</p>	<p>①毎週の学年会に加え、月1回は支援情報を共有する機会を持つことができたか。</p> <p>②生徒が組織的、主体的に学校行事を運営することができたか。学校行事等を通して達成感を持つことができたかを生徒アンケートで検証する。</p>	<p>①各学年・グループで生徒の個別の情報共有を定期的に行い、月1回以上の情報共有はできた。</p> <p>②西翔祭体育の部は生徒が中心となり積極的に取り組むことができた。文化の部では生徒アンケートの結果、「とても積極的に取り組めた」が42%、「まあまあ積極的に取り組めた」が48%(計90%)であり、次年度への期待も伺われた。このことから、多くの生徒が充実した活動ができたと思われる。</p>	<p>①今後も特別な支援の必要な者についてはSSWG会議を開き、外部機関とも連携していく。</p> <p>②体育の部は前年度よりも1週間早く実施したが、当日は気温が高く、競技をカットして終了することとなった。次年度の実施時期について検討する。3年ぶりの文化の部であったことから、企画内容の調整等に課題があった。次年度に向けて課題を共有し、改善していく。</p>	<p>・特別な支援の必要な生徒のニーズ把握や問題解決のためにも、SSWG会議等による外部機関と連携を深めていくとよいと思います。</p> <p>・学校行事では助け合い、共助など教科書では学ぶことが出来ないことがたくさんあります。貴重な時間と捉えられるような働きかけをしてあげて欲しいと思います。</p> <p>・活動制限が多い中で引き続き魅力のある学校づくりを続けてほしい。</p>	<p>①各学年・グループで情報共有を行い、必要な生徒への支援を行うことができた。</p> <p>①交通法規の遵守を呼び掛けていたが、自転車による事故・苦情・地域からの連絡も多かった。</p> <p>②西翔祭体育の部、文化の部では生徒が主体的に取り組むことができた。文化の部では3年ぶりにコロナ前に近い形で実施できた。生徒はコロナ前の文化の部を知らないため、試行錯誤していたが、文化の部の「生徒アンケート」からは積極的に取り組めたことが伺える。課題はいくつかのクラスの企画が似通ってしまったことである。</p> <p>②球技大会は生徒の運営により自主的に取り組み、活発的な活動ができた。</p>	<p>①個別の生徒の情報共有を継続して行う。必要な生徒へ支援を行う。</p> <p>①自転車による事故防止の観点から交通法規の遵守を呼び掛け、下校指導等の実施も検討する。また、来年度は厚木市と連携し、ヘルメットの着用推進も含めて交通安全指導に取り組む。</p> <p>②体育の部は熱中症による生徒の体調管理を考え、来年度は競技を精選する。文化の部ではコロナ前の形態での実施も想定して計画を立てていく。また、今年度の経験を活かして文化の部の企画内容の充実を図る。</p>
3 進路指導・支援	<p>①生徒の自己実現に向けたキャリア教育を実践し、生徒一人ひとりの主体的な進路選択と進路実現を図る。</p>	<p>①総合的な探究の時間の取組について生徒の主体的な活動実践のためにICT機器を積極的に活用させる。</p> <p>①それぞれの学年に応じて、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行う。</p>	<p>①「探究の過程」の情報収集か整理・分析の場面でICT機器の活用を支援する。</p> <p>①大学入試改革における情報収集を行い、適切な進路支援を心掛け、生徒一人ひとりの進路実現を図る。また、地域企業を訪問し、職業に</p>	<p>①総合的な探究の時間が「探究の過程」を踏まえたものとして効果的にICT機器を活用できたか。</p> <p>①生徒並びに保護者に情報が伝わったか。</p> <p>①地域と連携した進路支援が行えたか。</p>	<p>①探究における「まとめ・表現」でGoogleClassroomを活用することができた。</p> <p>①探究の時間を通して、自己の進路を考え、また、進路実現を踏まえた調べ学習を行った。ICTを利用する機会を多くもつことができた。</p>	<p>①情報を精査し、活用のためにノウハウの蓄積を進めていく。</p> <p>①カリキュラムの関係で情報の授業が1年生にないため、生徒に使い方の説明をする必要がある。</p> <p>①生徒同士でプレゼンテーションをおこない、他者の意見を</p>	<p>・総合的な探究の時間を活用するなどしてキャリア教育に取り組み、生徒の主体性が育まれることを期待します。</p>	<p>①探究における「まとめ・表現」でICT機器を活用し、GoogleClassroomを利用することができた。</p> <p>①探究の時間を通して、自己の進路を考え、また、進路実現を踏まえた調べ学習を行った。ICTを利用する機会を多くもつことができた。</p> <p>①毎朝スタディーサプリで英検対策に取り組み、1月の全</p>	<p>①進路情報を精査し、活用のためにノウハウの蓄積を進めていく。特に、1年生については、計画的に生徒に情報機器の使い方の指導を行っていく。</p> <p>①プレゼンテーション力を3年生までに身につけさせることを目標に各学年で計画的にICT活用授業を実践していく。</p> <p>①今年度より始めたスタデ</p>

			<p>①特別募集生徒の卒業後の社会接続に向けて、有効的な体験的進路学習を実施する。</p> <p>①特別募集生徒の進路実現に向けて教育、福祉、労働各機関との連携に努める。</p>	<p>ついて学ばせる。</p> <p>①朝学習のスタディーサプリーを使いこなせるようにする。</p> <p>①特別募集生徒の職業体験学習のため、近隣の協力企業・事業所を開拓し、連携関係を築く。</p> <p>①生徒の実態に応じた業種や作業等の体験活動が展開できるように連携する。</p> <p>①外部資源を活用し、幅広い学習内容を提供すると同時に困難ケースについては関係機関と連携対応する。</p>	<p>①生徒の実態に応じた進路学習が行えたか。</p> <p>①朝学習の取組状況が良かったか。</p> <p>①関係各所と連携関係構築が図れたか。</p> <p>①生徒の実態に応じた体験的学習活動が実施できたか。</p>	<p>①毎朝スタディーサプリーで英検対策に取り組み、1月の全員受験の合格を目指して取り組んだ。</p> <p>①特別募集生徒に対して、1学年は職業訓練機関の見学、2学年は近隣の協力企業で職業体験を行い、3学年は福祉サービスや地域の支援機関の活用方法について情報提供を行った。</p>	<p>聞くことで改善点や課題を見つけ、次につなげるステップとする必要がある。</p> <p>①特別募集生徒の進路指導の継続について、さらに系統だてた計画を立て、支援をしていく必要がある。</p>		<p>員受験の合格を目指して取り組んでいる。</p> <p>①特別募集生徒に対して、職業訓練機関の見学、職業体験、福祉サービスや地域の支援機関の活用方法について情報提供を行い、目に見える形での支援を行った。今年度さらに近隣の協力企業、事業所を開拓することができた。今後もさらに外部機関と連携して進路選択の幅を持たせたい。</p>	<p>ィーサプリー活用法を見直し、より効果的に行えるように取り組む。</p> <p>①特別募集生徒の進路指導の継続については、さらに外部機関とも連携し、校内体制の見直しも含めた系統的な計画を立て、支援をしていく。</p>
4	地域等との協働	<p>①学校の魅力を積極的に発信し、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②地域との協働を推進し、地域の企業研究所及び大学と連携した教育を実践する。</p>	<p>①教育活動の理解を得るための情報発信を継続的に行う。</p> <p>①保護者や地域の方々との情報交換を通して、相互理解を深める。</p> <p>②地域貢献デー等の取組を通じ、地域の一員としての意識を向上させる。</p>	<p>①学校説明会等の機会を通じて本校の教育活動の理解を促進するとともに、中学生やその保護者の信頼を得る。</p> <p>①ホームページによる発信を正確かつ迅速に行う。</p> <p>②地域の一員として、清掃や行事に参加する。</p>	<p>①中学生やその保護者の方に本校の教育活動を理解してもらえたかをアンケートで検証する。</p> <p>①ホームページによる発信、運営が適切に実施できたか。</p> <p>①保護者や地域の方々との相互理解が図れたか。</p> <p>②地域との協働により清掃活動や行事に参加することができたか。</p>	<p>①学校説明会でアンケートを実施し、意見を集約した。好評価のコメントが多くあり、入学希望者へ本校の魅力を伝えられた。</p> <p>①HPによる情報発信を継続して行い、学校説明会等の必要な情報を伝えることができた。</p> <p>②11月に地域貢献活動として、地域清掃を実施した。</p>	<p>①アンケートの結果を受け、今年度残りの説明会や次年度の開催方法について協議し、随時改良していく。</p> <p>①HP更新の迅速さに欠けるところがあった。グループ内での意見収集やフォーマットの作成等検討する。</p> <p>②平日実施は参加が難しいとご意見があり、今年度は本校のみで行った。今後の実施や方法について、協議していく。</p>	<p>・学校説明会で中学生やその保護者にアンケートを実施されていることは良い取り組みだと思います。学校がどのように評価されているかの検証は重要だと思います。</p> <p>・地域の協働、外部への情報発信はやってほしい。</p>	<p>①学校説明会等の機会を通じて、本校の教育活動や魅力について伝えられた。</p> <p>①ホームページによる情報発信は、内容の精査、また学校内での更新の方法や情報の集約について課題がある。</p> <p>②清掃活動は実施できたが、生徒の“地域の一員としての意識”を向上できなかった。森の里地域に通学していることや地域で日々生活していることについて意識させることが課題である。</p>	<p>①アンケート結果を集計・分析し、実施方法や実施時期について協議・検討する。</p> <p>①学校の現状についての情報発信を月2～3回程度以上実施し、在校生保護者・中学生・卒業生に周知する。</p> <p>②生徒委員会、PTA活動などと連携し、地域のボランティア活動団体等と協働する機会を設け、少人数から、地域の皆さんとの連携を深める。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①安心安全な教育環境作り推進の一環として、施設設備の適切な維持管理を図る。</p>	<p>①安心安全な教育環境作り推進の一環として、施設設備の適切な維持管理を行うとともに紙資源やエネルギー資源の節約の呼びかけを強化する。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理のため必要な改善や工夫を行い、省資源及び省エネルギーの呼びかけを行う。</p>	<p>①施設設備の適切な維持管理のため必要な改善や工夫を行ったか。また、省資源・省エネルギーのために新たな呼びかけができたか。</p>	<p>①エアコン更新工事を実施し、トイレ改修工事の計画を入れた。厚木西エコの日を定め、毎月エコポスターを各HRで掲示し、月間行事予定の周知方法を改善する等省資源・省エネルギーの取組を推進できた。プラスチックゴミの処理手順の再構築も行った。</p>	<p>①施設設備の維持管理については、今後も改善すべき点があれば、創意工夫して対応する。省資源・省エネルギーの取組については、厚木西エコの日の周知を中心とし、目に見える成果が出せるようにしていく。</p>	<p>・「エコの日」の取組は素晴らしい。昨年度まで掲げていた「ユニバーサルデザインによる教室環境整備」も継続することを期待します。この取り組みは「授業互見」や「ICT機器を活用した授業」「キャリア教育や学校行事、生徒会活動を通して生徒の主体性を育てる実践」などと共に「西高らしさ」がよく表れていると感じます。継続しての取組を期待します。</p> <p>・省エネルギーを実体験させることはとても良いと思います。経験を通じて違った省エネルギーのアイテムを募ってはいかがでしょうか。</p>	<p>①プラスチックゴミの分別収集の方法を見直すことを通じて、校内全体のゴミ箱の適正配置についての改善等を行った。</p> <p>①「厚木西エコの日」を制定して、省資源・省エネルギーについての啓蒙活動に力を入れるとともに、校内全体での呼びかけを強化した。</p>	<p>①省資源・省エネルギーの必要性が、従来以上に増している点を踏まえて、学校全体としての取り組みを強化していくことが求められている。様々な知恵を広く募集し、効果的な改善策の具体化を図る。</p>